

bauma CONEXPO INDIA 2024 ファイナルレポート

国際建設機械・建設資材製造機械・鉱業機械・建設車両専門見本市
2024年12月11日～14日
インドエキスポセンター

2024年12月14日

bauma CONEXPO INDIA 2024

記録的な規模でインドのインフラビジョンを塗り替える

Summary

- 135,000平方メートルの展示スペースに最先端のソリューションを満載
- インド全土および世界市場から51,118人の業界関係者が来場
- 6,298件を超えるバイヤー・セラー・ミーティングが効果的な協力関係を促進



Facts & Data

会期	2024年12月11日(水)～14日(土) 10時～18時 (最終日のみ17時まで)
会場	グレートノイダ/インドエキスポセンター
主催	bC Expo India Private Ltd. Messe Muenchen - メッセ・ミュンヘン AEM - 米国機器製造業協会
共催	BAI - インド建設業協会
規模	135,000 m ² (2023年: 135,000 m ²)
出展社数	984社 (2023年: 26カ国から601社)
来場者数	83カ国から51,118人 (2023年: 83カ国から41,108人)
主な出展製品	建設機械、建設車両、リフト、コンベヤー、建設機器・工具、特別システム、コンクリート・モルタル処理・製造、型枠、足場、建設現場施設、原料抽出・鉱業機械、原料処理、材料調整技術、建材用セメント・石灰・石膏製造、コンクリート・コンクリート製品・プレハブ構成材製造機械・システム、アスファルト製造機械・システム、予混合ドライモルタル・漆喰・スクリード製造機械・システム、石灰砂岩・発電所残渣使用建材機械・システム、石膏・石膏ボード・その他装置・付属品製造機械・システム、建材輸送、包装、駆動・流体技術、発電ユニット、付属品、予備・部品、サービス、検査、測定、制御、コントロールシステム技術、通信、ナビゲーション、作業安全 など
出展日本企業 (現法出展など含む)	いすゞ自動車(株)、遠藤工業(株)、音頭金属(株)、(株)技研製作所、(株)クボタ、コマツ産機(株)、トヨタ工機(株)、(株)トプコン、ニッタ(株)、日立建機(株)、本田技研工業(株)、油研工業(株) ほか

第7回 bauma CONEXPO INDIA は、インドの建設・鉱業・インフラの産業に変革をもたらす先例を打ち立てた。2024年12月11日から14日まで、Greater NoidaのIndia Expo Centreで開催された今年の見本市は、国家のインフラ整備の進展において画期的な出来事となった。



bauma CONEXPO INDIA 2024 では、135,000平方メートルを超える展示スペースで、画期的なイノベーションが紹介され、83カ国から51,118人の業界関係者が来場した。この見本市では、6,298件を超える有意義なバイヤー・セラー・ミーティングが行われ、また、2万件を超える最先端の製品とソリューションが発表されるなど、インドのインフラ事業に変革的な進展をもたらした。

出展者984社が一堂に会したこの見本市は、イノベーション、コラボレーション、そして持続可能な成長のためのダイナミックなプラットフォームを作り上げ、北インド最大の建設見本市としての地位を確固たるものにした。

この数字は、5兆ドル経済を目指す国家の目標に沿ってインドのインフラ整備を推進する上で、この見本市が極めて重要な役割を果たしていることを示唆している。

この見本市は、インド政府の道路交通・高速道路担当大臣の Shri Nitin Gadkari 氏によって正式に開会された。同氏は開会の挨拶で、「インドは大規模プロジェクトによって、急速に世界のインフラ大国へと進化している。この勢いを維持するためには、技術革新を促進し、研究開発に投資し、持続可能な燃料を採用する必要がある。世界第3位の規模にある建設機械産業は、輸出を拡大し、インドの製造能力を強化する大きな可能性を秘めている」と述べている。

メッセ・ミュンヘン・インドの CEO ブピンダー・シンは、「bauma CONEXPO INDIA 2024 は、インド独自のニーズとグローバルな専門知識を結びつけるプラットフォームとしての地位を確固たるものにし、『Viksit Bharat』ビジョンの実現に向けて役割を果たしている。今年の積極的な参画は、インドがインフラの革新と進歩のハブとして存在感を高めていることをはっきりと示している。今回、先進的機械のライブ・デモンストレーションから、持続可能性や新興技術、プロジェクト遂行に焦点を絞った議論まで、インドの野心的なインフラ目標を達成するために業界が取っている実践的なステップが紹介された。それは、産業界全体がイノベーションとコラボレーションを重要な手段として活用し、国のために持続可能で強靱な未来を築くという共通の取り組みを反映している」と力説した。

そして、メッセ・ミュンヘンの CEO シュテファン・ルンメルは、「bauma CONEXPO INDIA 2024 は、世界中の建設機械コミュニティにとって信頼されるプラットフォームとなり、そこではアイデアが交換され、パートナーシップが形成され、将来の成長への基盤が築かれている。今年は、グローバルな協力関係を更に強化し、業界の長期的な発展に貢献する機会が創出された。この変革の原動力となる集団的努力と革新を目の当たりにすることができた。その尽力に敬意を表したい」と補完している。

Demtech India 2024 は、解体技術の最新トレンドと進歩に特化した併設見本市として初開催し、イベントの提供内容を更に充実させた。NASSCOM パビリオンは、建設技術とデジタルソリューションにおける変革的イノベーションを紹介し、大きな注目を集めた。一方、ファイナンスゾーンは、業界関係者と大手金融機関との貴重なつながりを育む活発なネットワーキングの場となった。ドイツ、イタリア、中国、韓国など、多くの国々の国際パビリオンでは、グローバルな側面を加え、画期的なテクノロジーが紹介され、参加者は様々なイノベーションを探求する貴重な体験ができた。

Volvo Construction Equipment 社のマネージング・ディレクターで、bauma CONEXPO INDIA 2024 の会長 Dimitrov Krishnan 氏は、「今回の bauma CONEXPO INDIA は、よりスマートで強靱なインフラ・ソ

リノベーションを重視し、変革の推進者としての業界の役割を強調した。この見本市は、最先端技術や技能開発、持続可能性を全力で推進することを前面に出して、将来への強力な青写真を提示している。これは、現在の需要を満たすだけでなく、より持続可能で国際競争力のあるエコシステムを形成するための統一された取り組みを示すものである」と述べている。



また、ICEMA 会長で Caterpillar India Pvt. 社マネージング・ディレクターの V.

Vivekanand 氏は、「bauma CONEXPO

INDIA 2024 は、今後とも、建設機械業界の基幹見本市として機能していく。この見本市は、業界の関係者が協力し、イノベーションを紹介し合い、グローバルな製造拠点としてのインドの地位を強化していくことのできる唯一のプラットフォームである。ここでの知識共有とビジネスチャンスは、建設機械業界の将来にとって極めて重要となる」と述べている。

詳細情報と最新写真は、専用ホームページ(www.bcindia.com)で入手できる。

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)